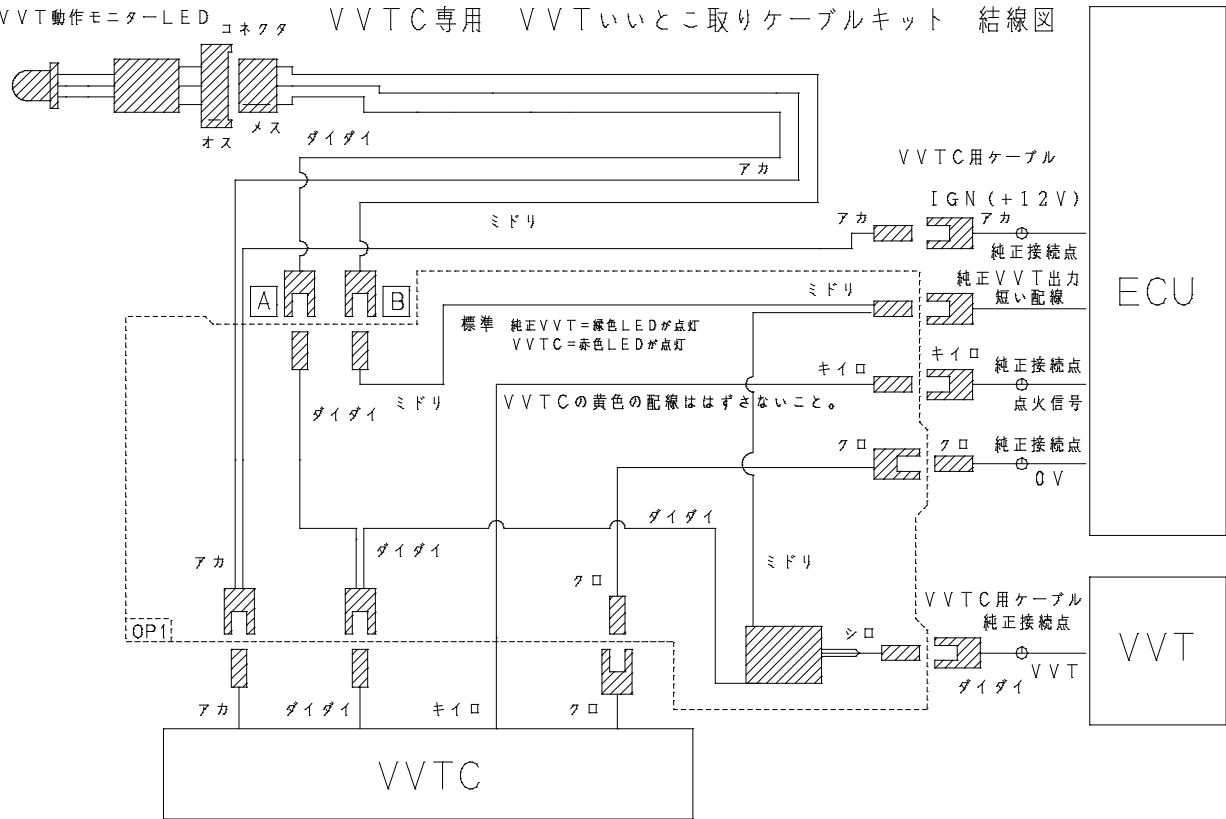


VVT動作モニターLED コネクタ VVTC専用 VVTいいとこ取りケーブルキット 結線図



配線上の注意点

配線は バッテリーのマイナス端子を外してから作業してください。必ず結線図のとおりに接続してください。配線の間違いは機器を壊すことが有ります。電源を入れる前に再度良く確認してください。

ギボシ端子は配線を引っ張るのではなく端子をしっかり押し込んで着脱してください。ラジオペンチを使うと端子の抜き差しができます。

VVTCの説明書も同時に見るとわかりやすいと思います。

内装装着前に動作確認をしてから内装を付けることをおすすめします。(特にAE111後期)

VVTCの配線は2種有ります。エレクトロタップの場合も有りますが、ギボシに変更することをおすすめします。最近のVVTCはギボシ端子です。熱収縮チューブで覆われている場合は線を剥いてメスギボシに変更してください。

配線方法 配線方法説明はECUハーネスが見える状態まで内装を外した状態からの説明です。

- アンフィニ製VVTCが接続された状態でVVTCの赤色、橙色、黒色のギボシで配線を分離してください。次にケーブルキット側で赤色で2本出ているメスギボシをVVTCの赤のオスギボシにカチッと音がするまで押し込みます。さらにケーブルキットの緑色で2本出ているメスギボシをVVTCの橙色のオスギボシにカチッと音がするまで押し込みます。(黄色の配線のギボシ接続は外さないでください)。次にケーブルキット側で黒色で2本出ているオスギボシをVVTCの黒のメスギボシにカチッと音がするまで押し込みます。
- ケーブルキットの白色の配線のオスギボシを純正VVT (VVTCを付けたときメスのギボシが付いています。) にケーブルキットの白色のオスギボシをカチッと音がするまで押し込みます。次にケーブルキット側の黒色のメスギボシをECUの黒色のオスギボシにカチッと音がするまで押し込みます。
- ケーブルキットの赤のオスギボシをECU側のVVTC用 赤色配線のメスギボシに接続、ケーブルキットの橙色の配線が2本出ているオスギボシをECU側のVVTC用 橙色の配線にそれぞれカチッと音がするまで押し込み接続します。
- 配線を再度確認してください。
- バッテリーを接続してエンジンを始動し、VVTCが動作する回転数で 赤色の表示になることを確認してください。
- VVTCの動作回転数を3800rpmにセットしてください。
- 試走をして 2000rpmから加速したときアクセルを多めに開けて(60%以上)加速したとき 緑の表示になることを確認してください。
- 4000rpm以上 6500rpm以下で走行中、アクセルを多めに(60%以上の開度)開けたとき、緑と赤のLEDが同時に点灯することを確認してください。(VVTCの設定回転数が4000rpmの例)
- 表示器のコネクタを外し、表示器をお好きな場所に固定してください。表示器をセットし 表示器コネクタを接続してから 内装を固定して取り付け完了です。車種によっては 5, 6, 7, 8, 9の順番は 作業性の良いように行ってください。

好みに合わせた表示色変更の仕方について

このキットは純正VVT動作時に緑色LEDが点灯 VVTC動作時に赤色LEDが点灯しますが表示色を逆にしたいと思う方もいるかと思いますが。その際は結線図のAとBの結線を入れ替えていただくことで簡単に変更できます。